

# 憲法25条をいま

## 朝日訴訟浅沼判決55年

「権利はたたかう者に  
 手にある」。低すぎる生活保護費の引き上げを求めて国などを相手に提訴した重症結核患者、朝日茂さんの座右の銘です。養子になり訴訟を承継した健二さんもたびたび語っていました。健二さんは今月17日、亡くなりました。

### 保護基準を尺度

茂さん勝訴の浅沼判決（1960年10月）の翌年から、生活保護の翌年から、生活保護

### 集いつながり声上げ

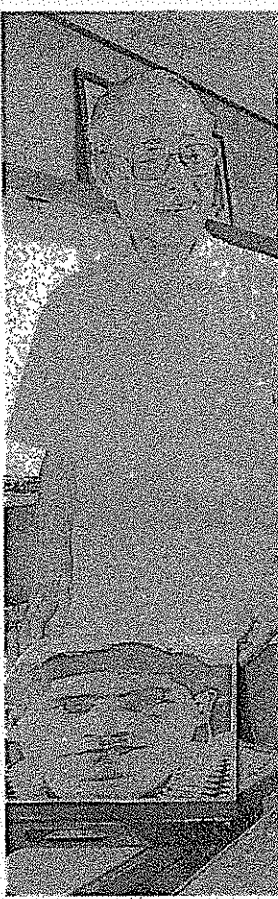
朝日茂さんの写真を手に朝日訴訟について語る故朝日健二さん（2010年、東京都内の朝日さんの自宅）

# 権利はたたかう者に

ど前、県労働組合総連合（神奈川労連）、年金者組合県本部、神奈川生活と健康を守る会連合会をつくる「25条共闘」ができました。全国一律最低賃金制度、最低保障年金制度、生活保護制度を中心に、ナショナル・ミニマム（最低限度の生活水準）の確立をめざします。

「所得」を通して労働者の生涯をみると、賃金、働けなくなった場合は生活保護、それから年金が必要になります。所得の最低保障

を求めているかなければならない。「25条共闘」について、神奈川労連の山田浩文副議長は、こう説明します。



人間らしく生きたい。  
 10.28生活保護アクション in 日比谷  
**25条大集会**  
 10/28(水) 日比谷野外音楽堂

社会保障の充実を訴える「25条大集会」

幅広い団体の連携を訴えています。

きょう野音楽会

「25条大集会」が28日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれます。

ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英さんなど幅広い分野で活躍する人たちが「人間らしく生きる」ことのできる社会保障制度を求めて、集い、つながり、そして声をあげましょう」と呼びかけています。

全国生活と健康を守る会連合会の安形義弘会長は訴えます。「朝日訴訟をめぐる運動は全国に広がり、大きな集いがたびたび開かれました。『25条大集会』を、当時は上回るたまたかの出発点としていこう」

（おわり）